



# ～燐たり 長洲中～

自主 創造 挑戦



## 防災の知識や意識を高め、今後に生かす防災講演会

9月19日(金)、ながす未来館にて熊本大学の竹内裕希子教授から「「災害への備え～平時にできること・中学生ができること～という演題で講演をいただきました。

講演の最初に「災害が発生したらあなたは何ができると思いますか?」という質問があり、生徒たちは、①自分を守ることができると思う ②自分を守って人を助けられると思う ③何かできただけど想像できない ④何もできないと思う から自分に当てはまりそうな項目を選びました。その後に災害に関するメカニズム、東日本大震災や熊本地震の被害状況等について、避難所の課題、ボランティア活動などの話がありました。

そして、災害の備えでは、①情報で備える ②モノで備える ③ネットワークで備える という大切さを具体的な内容をもとに伝えていただき、「ぜひ、災害に関心を持って、何が起こるのか知ってください。自分を守れるように準備をしてください。周りの人と話をしてください。自分を守ることができれば人を助けることにつながります。」とのメッセージがありました。

講演の謝辞として、生徒会の畠田慎翔副会長から『地震や火事、台風、洪水などの災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。

今日のお話を聞いて、災害は特別なことではなく、誰にでも起こりうる身近な出来事なのだと改めて感じました。そして、その時に自分や家族を守るために、普段からの備えや冷静な行動がとても大切であることを学びました。災害時、「やる気」と「思いやり」だけでは自分は守れない、知ることが防災のはじまり、特に避難する時の心構えや周りの人と協力し合うことの大切さについての話はとても心に残りました。私はこれから家族や友達とも話し合い、今日学んだことを生かして災害に備えていきたいと思います。本日の講演で得た学びを私たち一人ひとりが忘れず、将来にもしっかりつなげていきます。』とお礼の言葉とともに発表してくれました。



今後の防災学習は、10月9日に長洲町防災士、町職員の方を講師にHUG訓練、11月4日にKVOAD「くまもと災害ボランティア団体ネットワーク」の方を講師に長洲中避難所設営演習を行います。今後、さらに防災の意識が高まるることを願っています。

## 生徒会レクレーション『謎解きはテストのあとで&Kahoot!大会』

前期期末テストが終了した9月18日(木)3、4限目に、「学級、学年をこえた仲間と協力し、問題を解決することで友情を深める。」「仲間のことを知り、生徒同士の絆を強くする。」ことを目的に各学年混合の80チームで生徒会主催のレクレーションを行いました。前後半にわけて、謎解き(謎解き問題4問⇒クイズ32問)とタブレットPCからKahoot!(カフート)というアプリケーション(クイズを作成し、クイズ大会を開くことができ、クイズを解くことで、学習した内容の確認ができるなど、学校現場での学習方法としての新たなツールとして注目を浴びています)を使った取組でした。生徒たちは楽しい時間を過ごすことができたようです。





# ～燐たり 長洲中～

自主 創造 挑戦



## 防災の知識や意識を高め、今後に生かす防災講演会

9月19日(金)、ながす未来館にて熊本大学の竹内裕希子教授から「「災害への備え～平時にできること・中学生ができること～という演題で講演をいただきました。

講演の最初に「災害が発生したらあなたは何ができると思いますか?」という質問があり、生徒たちは、①自分を守ることができると思う ②自分を守って人を助けられると思う ③何かできただけど想像できない ④何もできないと思う から自分に当てはまりそうな項目を選びました。その後に災害に関するメカニズム、東日本大震災や熊本地震の被害状況等について、避難所の課題、ボランティア活動などの話がありました。

そして、災害の備えでは、①情報で備える ②モノで備える ③ネットワークで備える という大切さを具体的な内容をもとに伝えていただき、「ぜひ、災害に関心を持って、何が起こるのか知ってください。自分を守れるように準備をしてください。周りの人と話をしてください。自分を守ることができれば人を助けることにつながります。」とのメッセージがありました。

講演の謝辞として、生徒会の畠田慎翔副会長から『地震や火事、台風、洪水などの災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。

今日のお話を聞いて、災害は特別なことではなく、誰にでも起こりうる身近な出来事なのだと改めて感じました。そして、その時に自分や家族を守るために、普段からの備えや冷静な行動がとても大切であることを学びました。災害時、「やる気」と「思いやり」だけでは自分は守れない、知ることが防災のはじまり、特に避難する時の心構えや周りの人と協力し合うことの大切さについての話はとても心に残りました。私はこれから家族や友達とも話し合い、今日学んだことを生かして災害に備えていきたいと思います。本日の講演で得た学びを私たち一人ひとりが忘れず、将来にもしっかりつなげていきます。』とお礼の言葉とともに発表してくれました。



今後の防災学習は、10月9日に長洲町防災士、町職員の方を講師にHUG訓練、11月4日にKVOAD「くまもと災害ボランティア団体ネットワーク」の方を講師に長洲中避難所設営演習を行います。今後、さらに防災の意識が高まるることを願っています。

## 生徒会レクレーション『謎解きはテストのあとで&Kahoot!大会』

前期期末テストが終了した9月18日(木)3、4限目に、「学級、学年をこえた仲間と協力し、問題を解決することで友情を深める。」「仲間のことを知り、生徒同士の絆を強くする。」ことを目的に各学年混合の80チームで生徒会主催のレクレーションを行いました。前後半にわけて、謎解き(謎解き問題4問⇒クイズ32問)とタブレットPCからKahoot!(カフート)というアプリケーション(クイズを作成し、クイズ大会を開くことができ、クイズを解くことで、学習した内容の確認ができるなど、学校現場での学習方法としての新たなツールとして注目を浴びています)を使った取組でした。生徒たちは楽しい時間を過ごすことができたようです。





# ～燐たり 長洲中～

自主 創造 挑戦



## 防災の知識や意識を高め、今後に生かす防災講演会

9月19日(金)、ながす未来館にて熊本大学の竹内裕希子教授から「「災害への備え～平時にできること・中学生ができること～という演題で講演をいただきました。

講演の最初に「災害が発生したらあなたは何ができると思いますか?」という質問があり、生徒たちは、①自分を守ることができると思う ②自分を守って人を助けられると思う ③何かできただけど想像できない ④何もできないと思う から自分に当てはまりそうな項目を選びました。その後に災害に関するメカニズム、東日本大震災や熊本地震の被害状況等について、避難所の課題、ボランティア活動などの話がありました。

そして、災害の備えでは、①情報で備える ②モノで備える ③ネットワークで備える という大切さを具体的な内容をもとに伝えていただき、「ぜひ、災害に関心を持って、何が起こるのか知ってください。自分を守れるように準備をしてください。周りの人と話をしてください。自分を守ることができれば人を助けることにつながります。」とのメッセージがありました。

講演の謝辞として、生徒会の畠田慎翔副会長から『地震や火事、台風、洪水などの災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。

今日のお話を聞いて、災害は特別なことではなく、誰にでも起こりうる身近な出来事なのだと改めて感じました。そして、その時に自分や家族を守るために、普段からの備えや冷静な行動がとても大切であることを学びました。災害時、「やる気」と「思いやり」だけでは自分は守れない、知ることが防災のはじまり、特に避難する時の心構えや周りの人と協力し合うことの大切さについての話はとても心に残りました。私はこれから家族や友達とも話し合い、今日学んだことを生かして災害に備えていきたいと思います。本日の講演で得た学びを私たち一人ひとりが忘れず、将来にもしっかりつなげていきます。』とお礼の言葉とともに発表してくれました。



今後の防災学習は、10月9日に長洲町防災士、町職員の方を講師にHUG訓練、11月4日にKVOAD「くまもと災害ボランティア団体ネットワーク」の方を講師に長洲中避難所設営演習を行います。今後、さらに防災の意識が高まるることを願っています。

## 生徒会レクレーション『謎解きはテストのあとで&Kahoot!大会』

前期期末テストが終了した9月18日(木)3、4限目に、「学級、学年をこえた仲間と協力し、問題を解決することで友情を深める。」「仲間のことを知り、生徒同士の絆を強くする。」ことを目的に各学年混合の80チームで生徒会主催のレクレーションを行いました。前後半にわけて、謎解き(謎解き問題4問⇒クイズ32問)とタブレットPCからKahoot!(カフート)というアプリケーション(クイズを作成し、クイズ大会を開くことができ、クイズを解くことで、学習した内容の確認ができるなど、学校現場での学習方法としての新たなツールとして注目を浴びています)を使った取組でした。生徒たちは楽しい時間を過ごすことができたようです。





# ～燐たり 長洲中～

自主 創造 挑戦



## 防災の知識や意識を高め、今後に生かす防災講演会

9月19日(金)、ながす未来館にて熊本大学の竹内裕希子教授から「「災害への備え～平時にできること・中学生ができること～という演題で講演をいただきました。

講演の最初に「災害が発生したらあなたは何ができると思いますか?」という質問があり、生徒たちは、①自分を守ることができると思う ②自分を守って人を助けられると思う ③何かできただけど想像できない ④何もできないと思う から自分に当てはまりそうな項目を選びました。その後に災害に関するメカニズム、東日本大震災や熊本地震の被害状況等について、避難所の課題、ボランティア活動などの話がありました。

そして、災害の備えでは、①情報で備える ②モノで備える ③ネットワークで備える という大切さを具体的な内容をもとに伝えていただき、「ぜひ、災害に関心を持って、何が起こるのか知ってください。自分を守れるように準備をしてください。周りの人と話をしてください。自分を守ることができれば人を助けることにつながります。」とのメッセージがありました。

講演の謝辞として、生徒会の畠田慎翔副会長から『地震や火事、台風、洪水などの災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。

今日のお話を聞いて、災害は特別なことではなく、誰にでも起こりうる身近な出来事なのだと改めて感じました。そして、その時に自分や家族を守るために、普段からの備えや冷静な行動がとても大切であることを学びました。災害時、「やる気」と「思いやり」だけでは自分は守れない、知ることが防災のはじまり、特に避難する時の心構えや周りの人と協力し合うことの大切さについての話はとても心に残りました。私はこれから家族や友達とも話し合い、今日学んだことを生かして災害に備えていきたいと思います。本日の講演で得た学びを私たち一人ひとりが忘れず、将来にもしっかりつなげていきます。』とお礼の言葉とともに発表してくれました。



今後の防災学習は、10月9日に長洲町防災士、町職員の方を講師にHUG訓練、11月4日にKVOAD「くまもと災害ボランティア団体ネットワーク」の方を講師に長洲中避難所設営演習を行います。今後、さらに防災の意識が高まるることを願っています。

## 生徒会レクレーション『謎解きはテストのあとで&Kahoot!大会』

前期期末テストが終了した9月18日(木)3、4限目に、「学級、学年をこえた仲間と協力し、問題を解決することで友情を深める。」「仲間のことを知り、生徒同士の絆を強くする。」ことを目的に各学年混合の80チームで生徒会主催のレクレーションを行いました。前後半にわけて、謎解き(謎解き問題4問⇒クイズ32問)とタブレットPCからKahoot!(カフート)というアプリケーション(クイズを作成し、クイズ大会を開くことができ、クイズを解くことで、学習した内容の確認ができるなど、学校現場での学習方法としての新たなツールとして注目を浴びています)を使った取組でした。生徒たちは楽しい時間を過ごすことができたようです。





# ～燐たり 長洲中～

自主 創造 挑戦



## 防災の知識や意識を高め、今後に生かす防災講演会

9月19日(金)、ながす未来館にて熊本大学の竹内裕希子教授から「「災害への備え～平時にできること・中学生ができること～という演題で講演をいただきました。

講演の最初に「災害が発生したらあなたは何ができると思いますか?」という質問があり、生徒たちは、①自分を守ることができると思う ②自分を守って人を助けられると思う ③何かできただけど想像できない ④何もできないと思う から自分に当てはまりそうな項目を選びました。その後に災害に関するメカニズム、東日本大震災や熊本地震の被害状況等について、避難所の課題、ボランティア活動などの話がありました。

そして、災害の備えでは、①情報で備える ②モノで備える ③ネットワークで備える という大切さを具体的な内容をもとに伝えていただき、「ぜひ、災害に関心を持って、何が起こるのか知ってください。自分を守れるように準備をしてください。周りの人と話をしてください。自分を守ることができれば人を助けることにつながります。」とのメッセージがありました。

講演の謝辞として、生徒会の畠田慎翔副会長から『地震や火事、台風、洪水などの災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。

今日のお話を聞いて、災害は特別なことではなく、誰にでも起こりうる身近な出来事なのだと改めて感じました。そして、その時に自分や家族を守るために、普段からの備えや冷静な行動がとても大切であることを学びました。災害時、「やる気」と「思いやり」だけでは自分は守れない、知ることが防災のはじまり、特に避難する時の心構えや周りの人と協力し合うことの大切さについての話はとても心に残りました。私はこれから家族や友達とも話し合い、今日学んだことを生かして災害に備えていきたいと思います。本日の講演で得た学びを私たち一人ひとりが忘れず、将来にもしっかりつなげていきます。』とお礼の言葉とともに発表してくれました。



今後の防災学習は、10月9日に長洲町防災士、町職員の方を講師にHUG訓練、11月4日にKVOAD「くまもと災害ボランティア団体ネットワーク」の方を講師に長洲中避難所設営演習を行います。今後、さらに防災の意識が高まるることを願っています。

## 生徒会レクレーション『謎解きはテストのあとで&Kahoot!大会』

前期期末テストが終了した9月18日(木)3、4限目に、「学級、学年をこえた仲間と協力し、問題を解決することで友情を深める。」「仲間のことを知り、生徒同士の絆を強くする。」ことを目的に各学年混合の80チームで生徒会主催のレクレーションを行いました。前後半にわけて、謎解き(謎解き問題4問⇒クイズ32問)とタブレットPCからKahoot!(カフート)というアプリケーション(クイズを作成し、クイズ大会を開くことができ、クイズを解くことで、学習した内容の確認ができるなど、学校現場での学習方法としての新たなツールとして注目を浴びています)を使った取組でした。生徒たちは楽しい時間を過ごすことができたようです。





# ～燐たり 長洲中～

自主 創造 挑戦



## 防災の知識や意識を高め、今後に生かす防災講演会

9月19日(金)、ながす未来館にて熊本大学の竹内裕希子教授から「「災害への備え～平時にできること・中学生ができること～という演題で講演をいただきました。

講演の最初に「災害が発生したらあなたは何ができると思いますか?」という質問があり、生徒たちは、①自分を守ることができると思う ②自分を守って人を助けられると思う ③何かできただけど想像できない ④何もできないと思う から自分に当てはまりそうな項目を選びました。その後に災害に関するメカニズム、東日本大震災や熊本地震の被害状況等について、避難所の課題、ボランティア活動などの話がありました。

そして、災害の備えでは、①情報で備える ②モノで備える ③ネットワークで備える という大切さを具体的な内容をもとに伝えていただき、「ぜひ、災害に関心を持って、何が起こるのか知ってください。自分を守れるように準備をしてください。周りの人と話をしてください。自分を守ることができれば人を助けることにつながります。」とのメッセージがありました。

講演の謝辞として、生徒会の畠田慎翔副会長から『地震や火事、台風、洪水などの災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。

今日のお話を聞いて、災害は特別なことではなく、誰にでも起こりうる身近な出来事なのだと改めて感じました。そして、その時に自分や家族を守るために、普段からの備えや冷静な行動がとても大切であることを学びました。災害時、「やる気」と「思いやり」だけでは自分は守れない、知ることが防災のはじまり、特に避難する時の心構えや周りの人と協力し合うことの大切さについての話はとても心に残りました。私はこれから家族や友達とも話し合い、今日学んだことを生かして災害に備えていきたいと思います。本日の講演で得た学びを私たち一人ひとりが忘れず、将来にもしっかりつなげていきます。』とお礼の言葉とともに発表してくれました。



今後の防災学習は、10月9日に長洲町防災士、町職員の方を講師にHUG訓練、11月4日にKVOAD「くまもと災害ボランティア団体ネットワーク」の方を講師に長洲中避難所設営演習を行います。今後、さらに防災の意識が高まるることを願っています。

## 生徒会レクレーション『謎解きはテストのあとで&Kahoot!大会』

前期期末テストが終了した9月18日(木)3、4限目に、「学級、学年をこえた仲間と協力し、問題を解決することで友情を深める。」「仲間のことを知り、生徒同士の絆を強くする。」ことを目的に各学年混合の80チームで生徒会主催のレクレーションを行いました。前後半にわけて、謎解き(謎解き問題4問⇒クイズ32問)とタブレットPCからKahoot!(カフート)というアプリケーション(クイズを作成し、クイズ大会を開くことができ、クイズを解くことで、学習した内容の確認ができるなど、学校現場での学習方法としての新たなツールとして注目を浴びています)を使った取組でした。生徒たちは楽しい時間を過ごすことができたようです。





# ～燐たり 長洲中～

自主 創造 挑戦



## 防災の知識や意識を高め、今後に生かす防災講演会

9月19日(金)、ながす未来館にて熊本大学の竹内裕希子教授から「「災害への備え～平時にできること・中学生ができること～という演題で講演をいただきました。

講演の最初に「災害が発生したらあなたは何ができると思いますか?」という質問があり、生徒たちは、①自分を守ることができると思う ②自分を守って人を助けられると思う ③何かできただけど想像できない ④何もできないと思う から自分に当てはまりそうな項目を選びました。その後に災害に関するメカニズム、東日本大震災や熊本地震の被害状況等について、避難所の課題、ボランティア活動などの話がありました。

そして、災害の備えでは、①情報で備える ②モノで備える ③ネットワークで備える という大切さを具体的な内容をもとに伝えていただき、「ぜひ、災害に関心を持って、何が起こるのか知ってください。自分を守れるように準備をしてください。周りの人と話をしてください。自分を守ることができれば人を助けることにつながります。」とのメッセージがありました。

講演の謝辞として、生徒会の畠田慎翔副会長から『地震や火事、台風、洪水などの災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。

今日のお話を聞いて、災害は特別なことではなく、誰にでも起こりうる身近な出来事なのだと改めて感じました。そして、その時に自分や家族を守るために、普段からの備えや冷静な行動がとても大切であることを学びました。災害時、「やる気」と「思いやり」だけでは自分は守れない、知ることが防災のはじまり、特に避難する時の心構えや周りの人と協力し合うことの大切さについての話はとても心に残りました。私はこれから家族や友達とも話し合い、今日学んだことを生かして災害に備えていきたいと思います。本日の講演で得た学びを私たち一人ひとりが忘れず、将来にもしっかりつなげていきます。』とお礼の言葉とともに発表してくれました。



今後の防災学習は、10月9日に長洲町防災士、町職員の方を講師にHUG訓練、11月4日にKVOAD「くまもと災害ボランティア団体ネットワーク」の方を講師に長洲中避難所設営演習を行います。今後、さらに防災の意識が高まるることを願っています。

## 生徒会レクレーション『謎解きはテストのあとで&Kahoot!大会』

前期期末テストが終了した9月18日(木)3、4限目に、「学級、学年をこえた仲間と協力し、問題を解決することで友情を深める。」「仲間のことを知り、生徒同士の絆を強くする。」ことを目的に各学年混合の80チームで生徒会主催のレクレーションを行いました。前後半にわけて、謎解き(謎解き問題4問⇒クイズ32問)とタブレットPCからKahoot!(カフート)というアプリケーション(クイズを作成し、クイズ大会を開くことができ、クイズを解くことで、学習した内容の確認ができるなど、学校現場での学習方法としての新たなツールとして注目を浴びています)を使った取組でした。生徒たちは楽しい時間を過ごすことができたようです。





# ～燐たり 長洲中～

自主 創造 挑戦



## 防災の知識や意識を高め、今後に生かす防災講演会

9月19日(金)、ながす未来館にて熊本大学の竹内裕希子教授から「「災害への備え～平時にできること・中学生ができること～という演題で講演をいただきました。

講演の最初に「災害が発生したらあなたは何ができると思いますか?」という質問があり、生徒たちは、①自分を守ることができると思う ②自分を守って人を助けられると思う ③何かできただけど想像できない ④何もできないと思う から自分に当てはまりそうな項目を選びました。その後に災害に関するメカニズム、東日本大震災や熊本地震の被害状況等について、避難所の課題、ボランティア活動などの話がありました。

そして、災害の備えでは、①情報で備える ②モノで備える ③ネットワークで備える という大切さを具体的な内容をもとに伝えていただき、「ぜひ、災害に関心を持って、何が起こるのか知ってください。自分を守れるように準備をしてください。周りの人と話をしてください。自分を守ることができれば人を助けることにつながります。」とのメッセージがありました。

講演の謝辞として、生徒会の畠田慎翔副会長から『地震や火事、台風、洪水などの災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。

今日のお話を聞いて、災害は特別なことではなく、誰にでも起こりうる身近な出来事なのだと改めて感じました。そして、その時に自分や家族を守るために、普段からの備えや冷静な行動がとても大切であることを学びました。災害時、「やる気」と「思いやり」だけでは自分は守れない、知ることが防災のはじまり、特に避難する時の心構えや周りの人と協力し合うことの大切さについての話はとても心に残りました。私はこれから家族や友達とも話し合い、今日学んだことを生かして災害に備えていきたいと思います。本日の講演で得た学びを私たち一人ひとりが忘れず、将来にもしっかりつなげていきます。』とお礼の言葉とともに発表してくれました。



今後の防災学習は、10月9日に長洲町防災士、町職員の方を講師にHUG訓練、11月4日にKVOAD「くまもと災害ボランティア団体ネットワーク」の方を講師に長洲中避難所設営演習を行います。今後、さらに防災の意識が高まるることを願っています。

## 生徒会レクレーション『謎解きはテストのあとで&Kahoot!大会』

前期期末テストが終了した9月18日(木)3、4限目に、「学級、学年をこえた仲間と協力し、問題を解決することで友情を深める。」「仲間のことを知り、生徒同士の絆を強くする。」ことを目的に各学年混合の80チームで生徒会主催のレクレーションを行いました。前後半にわけて、謎解き(謎解き問題4問⇒クイズ32問)とタブレットPCからKahoot!(カフート)というアプリケーション(クイズを作成し、クイズ大会を開くことができ、クイズを解くことで、学習した内容の確認ができるなど、学校現場での学習方法としての新たなツールとして注目を浴びています)を使った取組でした。生徒たちは楽しい時間を過ごすことができたようです。





# ～燐たり 長洲中～

自主 創造 挑戦



## 防災の知識や意識を高め、今後に生かす防災講演会

9月19日(金)、ながす未来館にて熊本大学の竹内裕希子教授から「「災害への備え～平時にできること・中学生ができること～という演題で講演をいただきました。

講演の最初に「災害が発生したらあなたは何ができると思いますか?」という質問があり、生徒たちは、①自分を守ることができると思う ②自分を守って人を助けられると思う ③何かできただけど想像できない ④何もできないと思う から自分に当てはまりそうな項目を選びました。その後に災害に関するメカニズム、東日本大震災や熊本地震の被害状況等について、避難所の課題、ボランティア活動などの話がありました。

そして、災害の備えでは、①情報で備える ②モノで備える ③ネットワークで備える という大切さを具体的な内容をもとに伝えていただき、「ぜひ、災害に関心を持って、何が起こるのか知ってください。自分を守れるように準備をしてください。周りの人と話をしてください。自分を守ることができれば人を助けることにつながります。」とのメッセージがありました。

講演の謝辞として、生徒会の畠田慎翔副会長から『地震や火事、台風、洪水などの災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。

今日のお話を聞いて、災害は特別なことではなく、誰にでも起こりうる身近な出来事なのだと改めて感じました。そして、その時に自分や家族を守るために、普段からの備えや冷静な行動がとても大切であることを学びました。災害時、「やる気」と「思いやり」だけでは自分は守れない、知ることが防災のはじまり、特に避難する時の心構えや周りの人と協力し合うことの大切さについての話はとても心に残りました。私はこれから家族や友達とも話し合い、今日学んだことを生かして災害に備えていきたいと思います。本日の講演で得た学びを私たち一人ひとりが忘れず、将来にもしっかりつなげていきます。』とお礼の言葉とともに発表してくれました。



今後の防災学習は、10月9日に長洲町防災士、町職員の方を講師にHUG訓練、11月4日にKVOAD「くまもと災害ボランティア団体ネットワーク」の方を講師に長洲中避難所設営演習を行います。今後、さらに防災の意識が高まるることを願っています。

## 生徒会レクレーション『謎解きはテストのあとで&Kahoot!大会』

前期期末テストが終了した9月18日(木)3、4限目に、「学級、学年をこえた仲間と協力し、問題を解決することで友情を深める。」「仲間のことを知り、生徒同士の絆を強くする。」ことを目的に各学年混合の80チームで生徒会主催のレクレーションを行いました。前後半にわけて、謎解き(謎解き問題4問⇒クイズ32問)とタブレットPCからKahoot!(カフート)というアプリケーション(クイズを作成し、クイズ大会を開くことができ、クイズを解くことで、学習した内容の確認ができるなど、学校現場での学習方法としての新たなツールとして注目を浴びています)を使った取組でした。生徒たちは楽しい時間を過ごすことができたようです。





# ～燐たり 長洲中～

自主 創造 挑戦



## 防災の知識や意識を高め、今後に生かす防災講演会

9月19日(金)、ながす未来館にて熊本大学の竹内裕希子教授から「「災害への備え～平時にできること・中学生ができること～という演題で講演をいただきました。

講演の最初に「災害が発生したらあなたは何ができると思いますか?」という質問があり、生徒たちは、①自分を守ることができると思う ②自分を守って人を助けられると思う ③何かできただけど想像できない ④何もできないと思う から自分に当てはまりそうな項目を選びました。その後に災害に関するメカニズム、東日本大震災や熊本地震の被害状況等について、避難所の課題、ボランティア活動などの話がありました。

そして、災害の備えでは、①情報で備える ②モノで備える ③ネットワークで備える という大切さを具体的な内容をもとに伝えていただき、「ぜひ、災害に関心を持って、何が起こるのか知ってください。自分を守れるように準備をしてください。周りの人と話をしてください。自分を守ることができれば人を助けることにつながります。」とのメッセージがありました。

講演の謝辞として、生徒会の畠田慎翔副会長から『地震や火事、台風、洪水などの災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。

今日のお話を聞いて、災害は特別なことではなく、誰にでも起こりうる身近な出来事なのだと改めて感じました。そして、その時に自分や家族を守るために、普段からの備えや冷静な行動がとても大切であることを学びました。災害時、「やる気」と「思いやり」だけでは自分は守れない、知ることが防災のはじまり、特に避難する時の心構えや周りの人と協力し合うことの大切さについての話はとても心に残りました。私はこれから家族や友達とも話し合い、今日学んだことを生かして災害に備えていきたいと思います。本日の講演で得た学びを私たち一人ひとりが忘れず、将来にもしっかりつなげていきます。』とお礼の言葉とともに発表してくれました。



今後の防災学習は、10月9日に長洲町防災士、町職員の方を講師にHUG訓練、11月4日にKVOAD「くまもと災害ボランティア団体ネットワーク」の方を講師に長洲中避難所設営演習を行います。今後、さらに防災の意識が高まるることを願っています。

## 生徒会レクレーション『謎解きはテストのあとで&Kahoot!大会』

前期期末テストが終了した9月18日(木)3、4限目に、「学級、学年をこえた仲間と協力し、問題を解決することで友情を深める。」「仲間のことを知り、生徒同士の絆を強くする。」ことを目的に各学年混合の80チームで生徒会主催のレクレーションを行いました。前後半にわけて、謎解き(謎解き問題4問⇒クイズ32問)とタブレットPCからKahoot!(カフート)というアプリケーション(クイズを作成し、クイズ大会を開くことができ、クイズを解くことで、学習した内容の確認ができるなど、学校現場での学習方法としての新たなツールとして注目を浴びています)を使った取組でした。生徒たちは楽しい時間を過ごすことができたようです。





# ～燐たり 長洲中～

自主 創造 挑戦



## 防災の知識や意識を高め、今後に生かす防災講演会

9月19日(金)、ながす未来館にて熊本大学の竹内裕希子教授から「「災害への備え～平時にできること・中学生ができること～という演題で講演をいただきました。

講演の最初に「災害が発生したらあなたは何ができると思いますか?」という質問があり、生徒たちは、①自分を守ることができると思う ②自分を守って人を助けられると思う ③何かできただけど想像できない ④何もできないと思う から自分に当てはまりそうな項目を選びました。その後に災害に関するメカニズム、東日本大震災や熊本地震の被害状況等について、避難所の課題、ボランティア活動などの話がありました。

そして、災害の備えでは、①情報で備える ②モノで備える ③ネットワークで備える という大切さを具体的な内容をもとに伝えていただき、「ぜひ、災害に関心を持って、何が起こるのか知ってください。自分を守れるように準備をしてください。周りの人と話をしてください。自分を守ることができれば人を助けることにつながります。」とのメッセージがありました。

講演の謝辞として、生徒会の畠田慎翔副会長から『地震や火事、台風、洪水などの災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。

今日のお話を聞いて、災害は特別なことではなく、誰にでも起こりうる身近な出来事なのだと改めて感じました。そして、その時に自分や家族を守るために、普段からの備えや冷静な行動がとても大切であることを学びました。災害時、「やる気」と「思いやり」だけでは自分は守れない、知ることが防災のはじまり、特に避難する時の心構えや周りの人と協力し合うことの大切さについての話はとても心に残りました。私はこれから家族や友達とも話し合い、今日学んだことを生かして災害に備えていきたいと思います。本日の講演で得た学びを私たち一人ひとりが忘れず、将来にもしっかりつなげていきます。』とお礼の言葉とともに発表してくれました。



今後の防災学習は、10月9日に長洲町防災士、町職員の方を講師にHUG訓練、11月4日にKVOAD「くまもと災害ボランティア団体ネットワーク」の方を講師に長洲中避難所設営演習を行います。今後、さらに防災の意識が高まるることを願っています。

## 生徒会レクレーション『謎解きはテストのあとで&Kahoot!大会』

前期期末テストが終了した9月18日(木)3、4限目に、「学級、学年をこえた仲間と協力し、問題を解決することで友情を深める。」「仲間のことを知り、生徒同士の絆を強くする。」ことを目的に各学年混合の80チームで生徒会主催のレクレーションを行いました。前後半にわけて、謎解き(謎解き問題4問⇒クイズ32問)とタブレットPCからKahoot!(カフート)というアプリケーション(クイズを作成し、クイズ大会を開くことができ、クイズを解くことで、学習した内容の確認ができるなど、学校現場での学習方法としての新たなツールとして注目を浴びています)を使った取組でした。生徒たちは楽しい時間を過ごすことができたようです。

